

町政を問う！

# 一般質問

## 介護老人福祉施設等の入所待機者解消策

原 紀夫議員

出生数の減少や高齢化の増加が顕著で、介護を必要とする高齢者も増加している。

本町の65歳以上の高齢者は現在3000名を超えており、平成23年度には人口比では30%を超えると推計され、介護サービスの提供可能な体制整備が急務となっている。御影診療所の老人保健施設への転換が提案されているものの、現在、本町は

多くの入所待機者を抱えている現状にある。

全国的な問題で国の解決策を問われるが、現状の解決策をどのように考えているのかうかがう。

高薄町長

待機者がいるのは特別養護老人ホームで、現在は90人ほどの申請待機があるが、他施設に入っている方も含まれ、実際には40人程度とおさえている。これまでも特別養護老人ホームの拡充についてそれぞれの機会、十勝全体で要請をしているが、なかなか増設が認められない状況で、それぞれの地域特性があり、十勝に



多くの入所待機者を抱える特別養護老人ホーム

においては酪農と畑作の生産活動に影響が出てくることから、今後、さまざまな角度から要請していきたい。

## フロイデ温泉売却後の現状と町の今後の対策

原 紀夫議員

フロイデ温泉は、ホテル経営の実績等が高く評価されて民間経営者に売却され1年が経過したが、この間、町民の期待に反し大きく後退した運営状況が続いている。契約者との各種接触状況などを含めて、売り払い時の厳守事項等は反故状況にあるのではないかと疑問を感じる。

今後の運営など町民の希望する温泉としての機

6月定例会では5人の議員が一般質問にたち、12項目にわたって理事者の方針をただしました。

能が維持され、改善する見込があると考えるかうかがう。加えて、売り払い契約違反事項等が顕著な場合には、町としてどのような対策を講じるのか。

高薄町長

本年3月に、副町長と担当課長に大阪の本社を訪問させ、社長に現状を訴えた。昨年からの燃料

価格の高騰や現地職員の離職などで軌道に乗らなかったとの弁明があり、今後は本州からの集客を含めて経営の立て直しを図りたいとの強い意思のため、そのことを信じながら町も側面的な支援として町民利用の拡充を考

えていかなければならない。

契約時の条件では、町民等が温泉入浴できる用途に一部供しなければならぬとしており、従前、町が運営していた時のサービスを踏襲することは条件としていないため、契約違反はない。



経営の立て直しが求められるしみず温泉フロイデ